

コスモ・バイオ

海外販売網を拡充

ライフサイエンスに関する研究用試薬、機器などの

実績は79円だった。

専門商社である**コスモ・バイオ**（3386・JQ）の2012年12月期は、売上高74億円（前期比3%増）、経常利益8億2300万円（同4%減）の見通し。

第2・四半期（1-6月）決算は、前年同期に比べて売り上げは横ばい、経常利益は10%弱の減益だった。バイオ研究関連の試薬・機器市場は、4月以降の新年度の予算において大学・公的機関では予算執行に慎重さが見

自社品開発を進める

に対して第2・四半期の実績は79円だった。今期は次の5項目を最重点課題として取り組んでいる。①商品探索力の強化と自社ブランド商品の充実②商品検索システムの機能・運用強化③海外販売網の拡充加速④細胞関連分野の売り上げアップ加速⑤在庫品販売比率のアップ。このうち、①の自社ブランド商品の充実では、昨年度に開発した糖代謝測定キットをはじめ、生活習慣病や加齢研究用の商品の開発に取り組んでいる。また、③の

海外販売網の拡充加速では、アジア・ヨーロッパの製薬企業などで基礎研究・開発案件の絞り込みが行われ、特に創薬分野で購買活動が弱かった。今期の予想

は、アジア・ヨーロッパの販売代理店網を今年6月末で18社（3社新規採用）に強化、13年末までに30代理店とする計画。

為替レート（1ドル＝83円）

店とする計画。